

## 6 スポーツ振興のための施策

1	スポーツの振興	192
2	パラスポーツの振興	214
3	国際スポーツ大会の誘致・開催	225
4	大会後のレガシーの継承	230
5	スポーツ施設の管理運営	239
6	政策連携団体等との連携・協力	258



## スポーツ振興のための施策

スポーツ総合推進部及びスポーツ施設部は、「東京都スポーツ推進総合計画」（平成30年3月）に加え、東京2020大会の成果を、今後のスポーツ振興に活かすためにとりまとめた「TOKYOスポーツレガシービジョン」（令和4年1月）を基本に、スポーツとのつながりが日常に溶け込む「スポーツフィールド・東京」の実現に向けた施策を総合的に展開している。

主な事業は、次のとおりである。

### 1 スポーツの振興

- (1) 都におけるスポーツ振興施策を総合的、体系的に推進するため、スポーツ振興等に関する重要事項について審議する東京都スポーツ振興審議会の運営を行う。
- (2) 誰でも気軽に楽しめるスポーツの体験機会の充実や企業の取組の発信等によりスポーツムーブメントの創出に取り組む。
- (3) 区市町村の取組をソフト・ハードの両面から支援するなど、地域スポーツの促進を図る。
- (4) 東京のアスリートの競技力強化を図り、その成果をアスリートが地域での活躍に活かす競技力向上施策に取り組む。

### 2 パラスポーツの振興

- (1) 障害の有無にかかわらずパラスポーツに関心を持ってもらい、裾野を広げるための理解促進、普及啓発を行う。
- (2) 障害のある人がパラスポーツを楽しめる場の整備や人材の育成に取り組む。
- (3) 競技性を追求し、高みを目指す選手を発掘・育成・強化する競技力向上施策に取り組む。

### 3 国際スポーツ大会の誘致・開催

都民のスポーツへの関心喚起や東京のプレゼンス向上に向けて積極的に国際大会の誘致、開催を推進する。

### 4 大会後のレガシーの継承

- (1) 大会開催の感動や記憶を共有するとともに、大会で生まれたレガシーを未来へつなぐため、東京2020大会1周年記念事業を展開する。
- (2) メダル、聖火リレーのトーチ等の記念品や記録といったアーカイブ資産の活用を図る。
- (3) オリンピック・パラリンピックパーク名称の付与や銘板、大規模展示物、有明聖火台、ムラールといったレガシー設置物の設置を行う。

### 5 スポーツ施設の管理運営

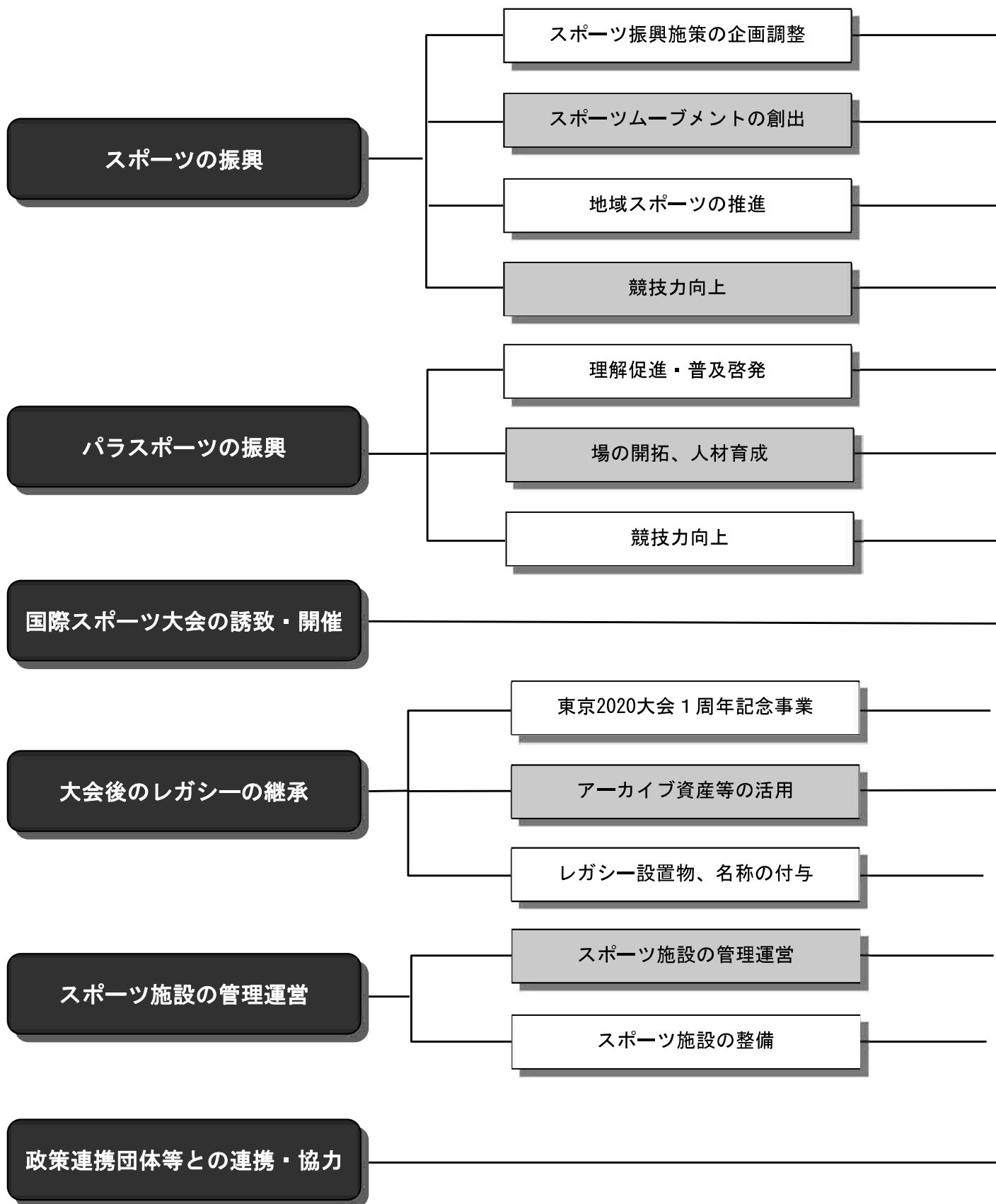
- (1) 都民のスポーツ及びレクリエーションの普及振興を図ること等を目的に、スポーツ施設（東京体育館、駒沢オリンピック公園総合運動場、東京武道館、東京辰巳国際水泳場、有明テニスの森公園テニス施設、若洲海浜公園ヨット訓練所、武蔵野の森総合スポーツプラザ、海の森水上競技場、夢の島公園アーチェリー場、カヌー・スラロームセンター、大井ふ頭中央海浜公園ホッケー競技場、東京アクアティクスセンター、東京都障害者スポーツセンター、味の素スタジアム、有明アリーナ）の管理運営を行う。

(2) 東京2020大会で整備された新規施設の大会後改修工事やスポーツ施設の維持補修等のほか、有明アーバンスポーツパークや東京都パラスポーツトレーニングセンター、東京辰巳アイスアリーナ（仮称）など今後新たに整備する施設の工事等を行う。

## 6 政策連携団体等との連携・協力

（公財）東京都スポーツ文化事業団、（一財）東京マラソン財団、（株）東京スタジアム、（公財）東京都体育協会、（公社）東京都障害者スポーツ協会と連携・協力して都のスポーツ振興施策を実施している。





・東京都スポーツ振興審議会、東京都スポーツ推進総合計画、TOKYOスポーツレガシービジョン等

・各種スポーツ大会・スポーツイベント、スポーツ情報の発信等

・地域スポーツ活動の促進、スポーツ環境整備費補助事業等

・競技スポーツの振興、ジュニア強化等に向けての指導体制の整備等

・パラスポーツ体験プログラム、東京2020パラリンピック周年記念事業等

・都立特別支援学校活用促進事業、障害者スポーツ人材の活動活性化事業等

・東京パラアスリート強化事業、障害者スポーツ団体体制強化支援事業等

・東京マラソン、東京レガシーハーフマラソン、GRAND CYCLE TOKYO等

・東京2020大会1周年記念事業

・現物資産（メダル、聖火リレートーチ等）、文書資産、ボランティアレガシー

・レガシー設置物（銘板、大規模展示物、有明聖火台、ムラール）、パーク名称の付与

・スポーツ施設の管理運営

・スポーツ施設の維持補修、大会後改修工事整備

・（公財）東京都スポーツ文化事業団、（一財）東京マラソン財団、（株）東京スタジアム、  
（公財）東京都体育協会、（公社）東京都障害者スポーツ協会との連携・協力

## 1 スポーツの振興

### (1) スポーツ振興施策の企画調整

#### ア 東京都スポーツ振興審議会

東京都におけるスポーツ振興施策を総合的、体系的に推進するため、体育施設等の運営及びスポーツ振興に関する重要事項について、知事等の諮問に応じて調査審議し、これら事項について建議する。

(ア) 委員 20名

(イ) 任期 2年

(ウ) 設置年度 昭和37年度

(エ) 根拠法令 東京都スポーツ振興審議会に関する条例、スポーツ基本法

(オ) 第28期審議会任期 令和3年10月28日～令和5年10月27日

(カ) 第28期審議事項 東京2020大会後のスポーツ振興について

(キ) 第28期開催実績

第1回 令和3年11月22日

○東京2020大会の総括とスポーツのレガシーについて

第2回 令和4年3月25日

○令和4年度スポーツ団体(社会教育関係団体)補助金・分担金事業(案)について

#### イ 東京都スポーツ推進総合計画

スポーツ基本法第10条に基づく、東京都のスポーツ推進計画である。

(ア) 策定年月 平成30年3月

(イ) 計画期間 平成30年度から令和6年度まで(7年間)

(ウ) 策定の考え方

東京都スポーツ推進計画(平成25年3月策定)及び東京都障害者スポーツ振興計画(平成24年3月策定)策定後、東京2020大会及び「ラグビーワールドカップ2019<sup>™</sup>(以下「RWC2019」という。)」の開催決定や、都民の障害者スポーツへの関心の高まりなど、東京都のスポーツを取り巻く環境は大きく変化した。そのような環境の変化を的確に捉え、新たな施策を効果的に展開するとともに、スポーツ振興全般について、障害のある人に配慮した視点を持って施策を普遍的に展開していくため、2つの計画を統合し、東京都スポーツ推進総合計画を策定した。

(エ) 基本理念

「スポーツの力で東京の未来を創る」

都民のスポーツ実施率70%を達成し、誰もが、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツを楽しみ、スポーツの力で人と都市が活性化する「スポーツ都市東京」を実現する。

(オ) 数値目標

世界トップレベルのスポーツ実施率(週1回以上スポーツを実施する18歳以上の都民の割合)70%を達成する。



なお、当計画では、スポーツをルールに基づいて勝敗や記録を競うものだけでなく、余暇時間や仕事時間等を問わず健康を目的に行われる身体活動、更には遊びや楽しみを目的とした身体活動（相応のエネルギー消費を伴うもの）まで幅広く捉え、これまで縁のなかった方にも気軽にスポーツに親しんでもらうことを目指す。

(カ) 3つの政策目標

スポーツ都市東京を実現していくためには、そのイメージを具体的にしていく必要がある。当計画では、将来の東京の姿を3つの政策目標として掲げ、その達成に向けてスポーツを通じた課題解決に取り組んでいく。

- a スポーツを通じた健康長寿の達成
- b スポーツを通じた共生社会の実現
- c スポーツを通じた地域・経済の活性化

(キ) 目標達成に向けた主な取組

- a スポーツを通じた健康長寿の達成
  - ・スポーツを身近でできる場の確保
  - ・スポーツを支える人材の育成 等
- b スポーツを通じた共生社会の実現
  - ・性別に関わらないスポーツ振興
  - ・誰もが気軽に観戦できるスポーツ環境の整備 等
- c スポーツを通じた地域・経済の活性化
  - ・スポーツクラスターを核とした地域の活性化
  - ・官民連携によるスポーツ気運の醸成 等

ウ TOKYOスポーツレガシービジョン

東京2020大会の成果をどのようにスポーツの振興に活かし、都市の中で根付かせていくか、その姿を示すためとりまとめたものである。

(ア) 策定年月 令和4年1月

(イ) 7つの主な取組

- a 都立スポーツ施設の戦略的活用
  - ・大会を契機にバージョンアップしたスポーツ施設を最大限活用し、多様な価値を提供していく。
- b 国際スポーツ大会の誘致・開催
  - ・様々な国際スポーツ大会が開催されスポーツの賑わいを都市の活力へとつなげる。
- c スポーツの場を東京の至る所に拡大
  - ・大会を契機に盛り上がった、スポーツへの関心を、都民の「する・みる・支える」につなげる。
- d パラスポーツの振興
  - ・障害の有無に関わらず共にスポーツを楽しむことを通じ、共生社会の実現に貢献し

ていく。

e 東京のアスリートの活躍

- ・東京のアスリートが経験をもとに地域で活躍し、スポーツの裾野を拡大する循環を創り出していく。

f ボランティア文化の定着

- ・ボランティアの経験や人材の厚い蓄積を将来に引き継ぎ、ボランティア文化の定着を図る。

g 未来へのメッセージ

- ・大会のアーカイブ資産とともに込められたメッセージを未来に継承していく。

## (2) スポーツムーブメントの創出

各種スポーツ大会の開催及び選手の派遣を行う。

また、都民が気軽に参加できるスポーツイベントを開催するとともに、国際大会・全国大会等のスポーツ観戦の機会を提供する。

### ア 各種スポーツ大会・スポーツイベント（概要・令和3年度実績）

事業（イベント）名		掲載ページ
①	都民体育大会	195
②	都民生涯スポーツ大会	195
③	都民スポレクふれあい大会	196
④	東京都市町村総合体育大会	197
⑤	全国青年大会	197
⑥	シニア健康スポーツフェスティバルTOKYO	198
⑦	全国健康福祉祭（ねんりんピック）東京都選手団派遣事業	198
⑧	東京みんなのスポーツ塾	198
⑨	TOKYO RUGBY MONTH	199
⑩	アーバン・フィットネス推進事業	199

## ① 都民体育大会

### 概要

広く都民の間にスポーツを普及し、都民の健康増進と体力向上を図り、都民生活を明るく豊かにするとともに、地域スポーツの振興と友好親善を目的として、区市町村対抗により、毎年開催する。

※ 公益財団法人東京都体育協会との共催により実施

#### 都民体育大会春季～冬季

##### ・春季大会

陸上競技・サッカー・テニス・ソフトテニス・バレーボール・弓道・バドミントン・卓球・剣道・柔道・軟式野球・クレー射撃・空手道・アーチェリー・馬術・ソフトボール・なぎなた・フェンシング・ローラースケート・ボウリング・ハンドボール・自転車・ゲートボール・銃剣道・ダンススポーツ・バスケットボール・少林寺拳法・ライフル射撃（28競技）



##### ・夏季大会 水泳・ゴルフ（2競技）

##### ・冬季大会 スキー・駅伝（2競技）

#### 合同開会式

・日 程 令和4年5月8日（日）

・参加者 590人

### 令和3年度実績

#### 都民体育大会春季・冬季、合同開会式

※ 新型コロナウイルス感染症の拡大を防止する観点から中止

#### 都民体育大会夏季（ゴルフ競技のみ実施。2020大会開催により水泳競技は中止）

・日 程 令和3年10月13日（水）～14日（木）

・参加者 277人

## ② 都民生涯スポーツ大会

### 概要

中高年を対象としたスポーツ大会であり、参加者がお互いに競い合いながらスポーツに親しむことにより、生涯にわたるスポーツ活動のより一層の普及・振興に資することを目的とする。

※ 公益財団法人東京都体育協会との共催により実施

#### ・実施種目（17競技）

水泳・陸上競技・バスケットボール・テニス・サッカー・ソフトバレーボール・ソフトテニス・バドミントン・ソフトボール・柔道・弓道・剣道・ラージボール卓球・なぎなた・ボウリング・ダンススポーツ・ゲートボール

・日 程 令和4年8月21日（日）～12月4日（日）

・会 場 駒沢オリンピック公園総合運動場、東京辰巳国際水泳場 ほか

### 令和3年度実績

- ・日程 令和3年8月21日（土）～12月4日（土）
- ・参加者 788人（3競技）
- ※ 新型コロナウイルス感染症の拡大を防止する観点から一部種目を中止

### ③ 都民スポレクふれあい大会

#### 概要

広く都民の間にスポーツ・レクリエーション活動を実践する場を提供し、都民一人ひとりのスポーツ・レクリエーション活動への参加意欲を喚起するとともに、子供からお年寄りまでが家族とともに参加することにより、世代を越えたふれあいと、健康・体力づくり、生きがいづくりに資することを目的として開催する。

※ 一般社団法人東京都レクリエーション協会との共催により実施

#### ・実施種目（33種目）

ターゲットバードゴルフ・グラウンドゴルフ・バウンドテニス・インディアカ・ミニテニス・スポーツウエルネス吹矢・フォークダンス\*・3B体操・トリム体操・練功十八法・ウォークラリー・手のひら健康バレー・スポーツチャンバラ・ウォーキング・ネオホッケー・ペタンク・ティーボール・オリエンテーリング・パドルテニス・キンボールスポーツ・ユニカール・ドッジボール・カバディ・クップ・フライングディスク・ノルディックウォーク・レクリエーション卓球・カーレット・ミニフロアボール・太極柔力球・ラインクップ・ウォーキングフットボール・綱引き



※ フォークダンスは、新型コロナウイルス感染症の拡大を防止する観点から中止

- ・日程 令和4年5月8日（日）～令和4年12月（予定）
- ・会場 駒沢オリンピック公園総合運動場、東京武道館 ほか

### 令和3年度実績

- ・日程 令和3年7月11日（日）～令和4年3月26日（土）
- ・参加者 2,569人（21種目）
- ※ 新型コロナウイルス感染症の拡大を防止する観点から一部種目を中止

#### ④ 東京都市町村総合体育大会

##### 概要

各市町村を代表する都民が、市町村対抗で陸上競技外13競技を行い、参加市町村のスポーツ振興と競技力の向上、また、多摩地域の連帯を深め地域の発展にも寄与することを目的に開催する。

※ 東京都市町村体育協会連合会との共催により実施

・競技種目（14競技）

陸上競技・卓球・ソフトテニス・バレーボール・バドミントン・水泳・軟式野球・剣道・柔道・空手道・弓道・ゲートボール・ダンススポーツ・ソフトボール

・日程 令和4年7月16日（土）～8月6日（土）

##### 令和3年度実績

※ 新型コロナウイルス感染症の拡大を防止する観点から中止

#### ⑤ 全国青年大会

##### 概要

全国の勤労青年が集い、体育、芸能文化及び意見発表を実施し、これを通して相互の友好親善を深め、共に健康で文化的な生活を樹立し、健全な郷土社会の建設に寄与することを目的とする。また、同大会に東京都代表選手を派遣する。



※ 日本青年団協議会及び一般財団法人日本青年館との共催により実施

・日程 令和4年11月11日（金）～14日（月）

・会場 日本青年館ホール ほか

##### 令和3年度実績

・日程 令和3年11月12日（金）～15日（月）

・参加者 187名

※ 新型コロナウイルス感染症の拡大を防止する観点から一部種目を中止

## ⑥ シニア健康スポーツフェスティバルTOKYO

### 概要

高齢者に適したスポーツや健康づくり推進活動を通して、多くの高齢者が社会参加や仲間づくり、世代間交流を広げることにより、明るく活力のある長寿社会づくりを推進する目的で、翌年開催される全国健康福祉祭の選考会を兼ねて実施している。

※ 公益財団法人東京都体育協会との共催により実施

・参加資格 59歳以上

・競技種目 (10競技)

ゲートボール・テニス・ソフトテニス・ソフトボール・弓道・剣道・マラソン・ラージボール卓球・ペタンク・サッカー

・日 程 令和4年10月12日(水)～11月26日(土)

・会 場 駒沢オリンピック公園総合運動場 ほか

### 令和3年度実績

・日 程 令和3年10月2日(土)～11月27日(土)

・参加者 2,461人(10競技)

## ⑦ 全国健康福祉祭(ねんりんピック)東京都選手団派遣事業

### 概要

全国健康福祉祭に東京都選手団を派遣し、高齢者の健康維持・増進、生きがいの高揚を図ることを目的に、昭和63年から毎年実施している。

・競技種目 (32種目) ※ 第34回大会(ねんりんピックかながわ2022)開催種目数

卓球・テニス・ソフトテニス・ゲートボール・ペタンク・ゴルフ・弓道・囲碁・将棋等

・日 程 令和4年11月12日(土)～11月15日(火)

・開催県 神奈川県

### 令和3年度実績

※ 新型コロナウイルス感染症の拡大を防止する観点から中止

## ⑧ 東京みんなのスポーツ塾

### 概要

ニュースポーツの普及に向けた指導者を育成するため、競技種目別に指導者によるルール解説や競技方法の指導、実践練習、試合を実施する。

・日 程 令和4年10月21日(金)～23日(日)

・会 場 駒沢オリンピック公園総合運動場

※ 一般社団法人東京都レクリエーション協会との共催により実施

### 令和3年度実績

・日 程 令和3年10月22日(金)～24日(日)

・参加者 1,082人(16種目)

※ 新型コロナウイルス感染症の拡大を防止する観点から一部種目を中止

<b>⑨ TOKYO RUGBY MONTH</b>
<b>概要</b>
<p>RWC2019のレガシーとして高まった機運を維持し、東京にラグビー文化を定着させるため、イベントやムーブメント活動等を行い、ラグビーへ触れる機会の創出、更なるラグビーの普及、裾野拡大を図っていく。</p> <p>【ラグビーイベント】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日 程 令和4年秋（予定）</li> <li>・会 場 味の素スタジアムAGFフィールド、 駒沢オリンピック公園総合運動場 ほか</li> <li>・内 容 ・ラグビー体験会 ・ラグビースクールに通う小・中学生を対象とした交流試合 ・スクールコーチを対象とした指導者向けクリニック ・RWC2019大会時のボランティアユニフォームをイベント時に活用 等</li> </ul>
<b>令和3年度実績</b>
<p>【ラグビーイベント】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日 程 令和3年11月14日（日）、20日（土）、12月4日（土）</li> <li>・会 場 味の素スタジアムAGFフィールド、駒沢オリンピック公園総合運動場ほか</li> <li>・内 容 ラグビー体験会、交流試合、指導者向けクリニック 等</li> <li>・参加者 992名（4日間合計）</li> </ul> <p>※ その他、11月14日（日）に東芝プレイブルーパス東京、東京サントリーサンゴリアス、リコーブラックラムズ東京の3チームと東京都ラグビーフットボール協会、東京都による事業連携協定締結式を実施。</p>


<b>⑩ アーバン・フィットネス推進事業</b>
<b>概要</b>
<p>公開空地等の東京ならではの都市空間を活用し、働き盛り世代を主なターゲットとしてフィットネス体験等の運動機会を創出する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日 程 令和4年秋</li> <li>・会 場 区部、多摩</li> <li>・内 容 フィットネスマシンの利用体験、健康運動指導士による運動指導、東京都スポーツ推進企業の取組事例等の紹介 等</li> </ul>
<b>令和3年度実績</b>
<p>【アーバン・フィットネス in 丸の内 2022】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日 程 令和4年3月15日（火）、16日（水）</li> <li>・会 場 K I T T E丸の内 1階アトリウム（千代田区）</li> <li>・内 容 フィットネスマシン体験、スマホアプリを活用した運動体験、健康運動指導士による運動指導 等</li> <li>・参加者 1,291名（2日間延べ）</li> </ul>

## イ 参加型スポーツイベントの開催によるスポーツ振興事業

スポーツの場を東京の至る所に拡げることを目的に、誰でも気軽に参加できるスポーツイベントを開催する。

※ 令和4年度から公益財団法人東京都スポーツ文化事業団への補助により実施

① スポーツフェスタ
<b>概要</b>
スポーツの日を記念し、スポーツの普及、喚起を図るため参加・体験型スポーツイベントを開催。オリンピック・パラリンピック種目やレクリエーションスポーツの体験コーナー、ゲストによるミニトークショー等を実施する。 ・日程 令和4年10月10日（月・祝）、22日（土）、令和5年2月5日（日） ・会場 東京体育館、昭和記念公園 ほか
<b>令和3年度実績</b>
※ 新型コロナウイルス感染症の拡大を防止する観点から中止

② TOKYOウオーク
<b>概要</b>
東京の名所などを巡るウォーキングイベントを開催する。 ・日程及び会場（予定） 令和4年11月12日（土）井の頭恩賜公園 令和4年12月10日（土）上野恩賜公園

<b>令和3年度実績</b>
・日程 東京ベイウオーク 令和4年2月12日（土） アプリウオーク 令和4年1月6日（木）～2月28日（月） ・参加者 2,225人 ※ 東京都、公益財団法人東京都スポーツ文化事業団、一般社団法人日本ウォーキング協会の共催により実施

③ 味の素スタジアム ランニングフェスタ
<b>概要</b>
味の素スタジアムにおいて、ランニングイベントを実施する。 ・日程（予定） 令和4年11月27日（日）
<b>令和3年度実績</b>
・日程 令和4年3月21日（月・祝） ・参加者 2,650人 ※ 東京都、公益財団法人東京都スポーツ文化事業団の共催により実施



## ウ スポーツムーブメントの創出

### (ア) デジタルの力を活用したスポーツ機会の創出

誰もがいきいきとスポーツを楽しみながら、健康増進に取り組むことができるよう、デジタルツールを活用し、主に働き盛り・子育て世代を対象に、時間や場所を問わず、継続してスポーツ活動を行うためのきっかけを提供する。

### (イ) 子供の外遊び運動等促進事業【新規】

外遊び運動等に関する遊び方等の動画を作成・発信し、子供同士や家族が身近な地域で外遊び運動等を楽しむきっかけを作る。

### (ウ) だれでもフィットネス推進事業【新規】

運動することに無関心や苦手意識のある高齢者、子供に対し、身体を動かすことの楽しさ等を伝える動画を作成して効果的に発信することで、高齢者、子供のフィットネス等実施につなげる。

## エ スポーツ観戦事業

主催者と連携を図りながら大規模スポーツ大会に都民を招待することにより、スポーツを実際にみる機会を創出する。

### 【令和3年度実績】

大会名	バレーボール日本代表国際親善試合～東京チャレンジ2021～
主催者	公益財団法人日本バレーボール協会
観戦日/会場	令和3年5月1日/有明アリーナ
招待数	50組100名 ※ 募集後、新型コロナウイルス感染症の拡大を防止する観点から中止
大会名	F I N A 飛込ワールドカップ2021 兼 東京2020オリンピック最終選考会
主催者	国際水泳連盟
観戦日/会場	令和3年5月1日～6日/東京アクアティクスセンター
招待数	500名(オンラインによるバックヤードツアー)
大会名	B. L E A G U E 2021-22シーズン B1リーグ戦 第21節 アルバルク東京 vs 千葉ジェッツ
主催者	公益社団法人ジャパン・プロフェッショナル・バスケットボールリーグ
観戦日/会場	令和4年2月5日～6日/国立代々木競技場 第一体育館
招待数	50組100名 ※ 募集後、選手に新型コロナウイルス感染症陽性判定が発生したことにより、試合中止

## オ 都民等へのスポーツ情報の発信

### (ア) スポーツTOKYOインフォメーション

都民等がそれぞれの興味・関心に応じて、スポーツに関する情報を容易に検索できるポータルサイト「スポーツTOKYOインフォメーション」を運営している。



Twitterフォロワー数：6,357（令和4年8月1日時点）

#### 【令和3年度実績】

ページビュー数：614,055件

### (イ) スポーツ東京案内事業

スポーツの裾野拡大、スポーツ実施率の向上に向けた取組として、スポーツに関する相談や、情報をワンストップで提供する「スポーツ東京案内」を実施している。

#### a 都内スポーツ情報案内サイト「SPOPI TA」

都民からの多様な問合せに応えるよう、スポーツ施設紹介やスポーツに関するイベント情報などを発信する案内サイト。

#### b 指導者派遣

区市町村等が実施するスポーツ教室・イベント等に対して、競技スポーツ指導者やスポーツ・レクリエーション指導者等を派遣。

※ 公益財団法人東京都スポーツ文化事業団への補助により実施

### (ウ) スポーツ気運継承事業【新規】

東京2020大会のレガシーとして、大会を契機に高まった都民のスポーツに対する機運をスポーツの実施につなげていくため、スポーツイベント等が集中する10月から12月の3か月間を「スポーツ月間」としてキャンペーンを実施していく。

## (3) 地域スポーツの推進

### ア TOKYOスポーツ施設サポーターズ事業

都民が身近なところでスポーツを実施できる場を確保し、都民のスポーツ環境を維持できるように、スポーツ施設を所有している大学や企業等と協定を締結し、その活動に支障のない範囲で、有償でスポーツ施設を貸し出さしていただく事業を実施している。

【協力先】

	大学・企業	貸出施設名
1	東京都立大学	南大沢キャンパス、日野キャンパス、 荒川キャンパス
2	東京大学	検見川総合運動場
3	東京医科歯科大学	湯島キャンパス
4	山野美容芸術短期大学	山野治一記念講堂
5	日本郵政株式会社	高井戸レクリエーションセンター
6	東京健保組合大宮運動場	大宮けんぼグラウンド
7	出版健康保険組合	健康増進センターすこやかプラザ
8	公益財団法人三菱養和会	調布グラウンド
9	株式会社CAC Holdings	CACボッチャコート
10	東京都職員共済組合	清瀬運動場

イ 地域スポーツクラブの設立・育成支援等

地域の日常的なスポーツ活動の場として、都民の誰もが参加できる地域スポーツクラブの設立と、安定した活動を支援する。

(ア) 地域スポーツクラブ設立支援事業

a 東京都地域スポーツクラブ設立支援協議会

地域スポーツクラブ設立に向けて、地域における多様な取組が推進されるよう、区市町村、スポーツ関係団体等と連携を強化し、地域スポーツクラブ設立・育成のための支援策を検討する。

b 地域スポーツクラブ設立活動活性化事業

地域スポーツクラブ未設置区市町村を対象に、クラブの育成を促進するためのセミナーを実施し、地域特性に合った設立準備活動を促進する。

(イ) 広域スポーツセンター※事業

※ 広域スポーツセンター：地域住民が自主的・主体的に運営する「地域スポーツクラブ」の設立・育成や、その運営を支援するために公益財団法人東京都スポーツ文化事業団内に設置された組織

a 人材養成・研修事業

地域スポーツクラブの運営スタッフや指導者等、人材の育成と研修の機会を提供し、クラブの活動を支援する。

- ・スポーツクラブマネージャー養成講習会、スポーツリーダー研修会、地域スポーツクラブシンポジウム等

b 活動支援事業

地域スポーツクラブ間の情報交換や交流する機会の提供、地域特性に合わせた多様なスポーツ体験等を通して、クラブの活動を支援する。

- ・地域スポーツクラブ連絡協議会、交流会、交流大運動会、種目別交流大会、体験事業等
- c 相談事業  
地域スポーツクラブの育成、安定したクラブ運営を支援するため、電話・訪問等による相談を行う。
- d 指導者派遣事業  
地域スポーツクラブの設立や活動充実に向けた取組へ指導者の派遣を行い、クラブ設立と安定的な活動を支援する。
- e 広域スポーツセンター機能強化支援事業  
地域スポーツクラブの活動実態や会員のニーズ、地域スポーツクラブの認知度等について調査分析を行い、効果を検証するとともに課題を明確にし、クラブの設立育成における広域スポーツセンターの機能強化を推進する。
- f 情報収集・提供事業  
地域スポーツクラブの設立及び活動を支援するための情報を提供し、地域スポーツクラブ情報のネットワーク化を図る。
- g 地域スポーツクラブ都民参加事業等  
スポーツ実施率の向上に寄与することを目的に、地域スポーツクラブが実施する広く都民が参加できる事業（働き盛り世代・障害者の参加工夫事業、スポーツ活動の動機づけ事業等）を支援する。

【令和3年度実績】

事業名等	参加者数等
地域スポーツクラブ育成セミナー	新型コロナウイルス感染症の拡大を防止する観点から中止
人材養成・研修事業 (スポーツクラブマネージャー養成講習会等)	293人
活動支援事業 (地域スポーツクラブ交流会等)	1,083人
相談事業 (未設置地区の区市町村や活動中クラブへの訪問等相談)	56回
指導者派遣事業 (クラブ活動の充実等事業)	派遣 3人 参加者 55人
情報収集・提供事業 (HP「地域スポーツクラブサポートネット」の運営)	—
地域スポーツクラブ都民参加事業	4,055人

(ウ) 総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度

全国的に令和4年度から開始となった総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度につ

いて、都においても運用を開始している。

## ウ 地域スポーツ団体との連携

### (ア) シニアスポーツ振興事業

高齢者のスポーツ実施率向上を図り、もって高齢者の健康維持・増進に寄与することを目的に、公益財団法人東京都体育協会、公益財団法人東京都スポーツ文化事業団、一般社団法人東京都レクリエーション協会を通じて、各地域で実施する高齢者対象の事業を支援する。

#### 【対象事業】

地区体育協会、地域スポーツクラブ、東京都レクリエーション協会加盟団体が実施する、60歳以上の高齢者を主な参加対象とするスポーツ競技会、講習会・講演会等

#### 【令和3年度実績】

団体名	実施地域数等	参加者数
東京都体育協会（地区体育協会）	47地区	15,397人
地域スポーツクラブ	29クラブ	1,299人
東京都レクリエーション協会	14団体	1,092人

## エ 地域スポーツ活動の促進

### (ア) 地域スポーツを支える人材の育成

#### a スポーツ推進委員\*研修会

地域におけるスポーツ推進委員活動の充実及び資質の向上並びに広域的な連携・協調を図ることで都内の地域スポーツの振興に資することを目的とする。

※ スポーツ推進委員（旧体育指導委員）：スポーツ基本法第32条に基づき区市町村が委嘱する非常勤職員。都内では約1,500人が、地域スポーツの企画・運営や、それに係る連絡調整等を行う。

#### ・課題別研修会（年1回）

東京都におけるスポーツ推進委員の喫緊の課題についての研修

#### ・広域地区別研修会（年11回）

都内11ブロックにおけるスポーツ振興に関わる身近な課題や問題点等について共通認識を深める研修

#### ・地域スポーツ支援研修会（年3回）

地域におけるスポーツ推進委員のあり方や役割について広く見識を深める研修

#### 【令和3年度実績】

研修名	実施回数・時期	参加者数
課題別研修会	年1回（11月）	80人
広域地区別研修会	年10回（9月～11月）	942人
地域スポーツ支援研修会	年1回（2月）	111人

b 生涯スポーツ担当者研修会

生涯スポーツに関する行政及びスポーツ団体の関係者に対し、東京都のスポーツ振興における問題意識の共有化を図ることで関係者相互の連携を強化し、もって生涯スポーツ社会の実現に資することを目的とする。

- ・回数 年2回
- ・対象 区市町村スポーツ主管課職員、区市町村スポーツ推進委員、区市町村体育協会関係者、区市町村レクリエーション協会関係者、地域スポーツクラブ関係者等

【令和3年度実績】

	講義	日程	参加者数
第1回	「スポーツ施設と指定管理者制度」 「スポーツ行政とスポーツ推進委員制度」	6月11日	71人
第2回	「総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度について」	1月21日	65人

(イ) スポーツ功労者の顕彰

スポーツ・レクリエーションの振興に功績のあった者及びスポーツ・レクリエーションの普及・発展に貢献した団体を顕彰及び推薦することにより、スポーツの振興を図る。障害者スポーツについては、東京都スポーツ功労賞において平成24年度から、東京都功労者表彰において平成25年度から顕彰又は推薦を行っている。

【令和3年度実績】

表彰名	個人	団体
東京都スポーツ功労賞の表彰	36名 (うち障害者スポーツ2名)	28団体 (うち障害者スポーツ2団体)
東京都功労者表彰(スポーツ振興功労)の推薦	12名 (うち障害者スポーツ1名)	10団体 (うち障害者スポーツ1団体)
文部科学大臣表彰の推薦	8名 (うちスポーツ推進委員功労2名)	6団体 (うち障害者スポーツ1団体)

(ウ) スポーツを通じた健康増進に関する普及啓発

都民がスポーツを行うことの必要性を感じ、自発的にスポーツを実施してもらうため、スポーツが健康等にどのような効用・効果があるのか都民等に分かりやすく示していくとともに、効果的なスポーツの種類、頻度、強度等の活動メニューや指標を発信していく必要がある。については、健康増進普及啓発冊子「TOKYO style」やWebサイト等により分かりやすく周知する。

オ スポーツ大会等への後援名義の使用承認

都内で開催されるスポーツ大会等の中で、公益性があり、東京都のスポーツ振興の推進

に寄与する行事について、後援名義の使用を承認している。

【令和3年度実績】

後援名義 142件

※ パラスポーツに係るものは、224ページ2(4)コ「後援名義の使用承認」参照

カ 東京都スポーツ推進企業認定制度

社員のスポーツ活動を推進する取組や、スポーツ分野における社会貢献活動を実施している企業等を「東京都スポーツ推進企業」として認定する。認定された企業のうち、特に先進的な取組や波及効果のある取組をしている企業等を「東京都スポーツ推進モデル企業」として表彰する。さらに、累計5回「東京都スポーツ推進モデル企業」となった企業を「東京都スポーツ推進殿堂入り企業」として認定し表彰する。また、認定企業に対して、企業間の情報交換を促進する目的で、交流会の実施や交流サイトを運営するとともに、スポーツインストラクター等の派遣事業により、企業の取組を支援している。

【令和3年度実績】

- ・東京都スポーツ推進企業 333社
- ・東京都スポーツ推進モデル企業 9社
- ・東京都スポーツ推進殿堂入り企業 1社（令和元年度～）
- ・東京都スポーツ推進企業交流サイト 令和4年2月開設
- ・スポーツ推進企業Enjoy Sports促進事業（スポーツインストラクター等派遣カタログ） 5件

キ 区市町村におけるスポーツ振興施策への支援

東京2020大会の開催によるスポーツの気運の高まりを捉え、区市町村が実施するスポーツ振興等事業に対して支援することにより、身近な場でスポーツができる環境の拡大やパラスポーツの普及等を図り、誰もがスポーツを楽しめる「スポーツフィールド・東京」の実現につなげることを目的として補助事業を行っている。

事業区分	事業内容	補助率	
【ソフト】 区市町村スポーツ実施促進補助事業【新規】	(1) 地域スポーツ推進事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区市町村策定のスポーツ振興計画等に基づき、スポーツ実施率向上に資する取組</li> <li>・うち、「する」、「みる」、「支える」の視点で都の政策と合致する取組</li> </ul>	1/3 1/2
	(2) パラスポーツ推進事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>【パラスポーツ普及推進事業】</li> <li>・体験会や講演会など、都民のパラスポーツへの関心の高まりを維持・向上させる取組</li> <li>【スポーツ・運動機会創出事業】</li> <li>・スポーツ教室や指導者の育成など、障害者の継続的なスポーツ実施に資する取組</li> </ul>	1/2
		<ul style="list-style-type: none"> <li>【地域コラボ事業】</li> <li>・障害者のスポーツ実施に向けて、スポーツ、医療、福祉等の関係者間で課題を共有して、企画された取組</li> </ul>	2/3 ※1
	【ハード】 スポーツ環境整備費補助事業	(1) スポーツ環境の拡充	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共施設の一部をスポーツ施設として改修する工事</li> <li>・デジタル技術を活用したスポーツ実施に向けた工事</li> <li>・暑さ対策を目的とした工事</li> </ul>
(2) パラスポーツの推進		<ul style="list-style-type: none"> <li>・パラスポーツの実施に必要なコートの新設、改修及びバリアフリー化に係る工事</li> </ul>	

※1 地域コラボ事業の補助率は初年度のみ2/3

※2 スポーツ環境整備費補助の補助率は、国庫補助等と併用の場合1/3

#### (4) 競技力向上

##### ア 競技スポーツの振興

###### (ア) 国民体育大会への選手・役員派遣等

国民体育大会は、広く国民の間にスポーツを普及し、スポーツ精神を高揚して国民の健康増進と体力の向上を図り、併せて、地方スポーツの振興と地方文化の発展に寄与するとともに、国民生活を明るく豊かにしようとするものである。東京都の各競技の選手及び役員は、当該競技団体会長と公益財団法人東京都体育協会会長が東京都の代表として認めた者を選抜する。

なお、本大会の予選として、東京都予選会を開催するとともに、関東ブロック大会を各都県持ち回りで開催する。関東ブロック大会は、関東ブロック（茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県）のスポーツを振興し、地域住民の健康増進と体力の向上を図るとともに、



に、スポーツの交流を通じて各都県の親睦と友情を深め、併せて地方文化の発展に寄与しようとするものである。毎年8都県の輪番により実施しており、令和4年度は東京都が幹事県として、約6,000人の選手団を迎えて実施する。

###### 【令和4年度の予定】

	大会名	開催地	競技種目	日程
第77回国民体育大会	東京都予選会	東京都ほか	37競技	令和4年4月～8月
	関東ブロック大会	東京都ほか	31競技	令和4年6月～8月
	本大会	栃木県	37競技 特別競技1競技 公開競技5競技	令和4年9月～10月
特別国民体育大会(冬季大会)	東京都予選会	東京都ほか	3競技	令和4年11月～令和5年1月
	関東ブロック大会	東京都	1競技	令和4年12月
	本大会	青森県	2競技	令和5年1月～2月
		岩手県	1競技	令和5年2月



【東京都の国民体育大会（本大会）順位の推移（男女総合）】

	第72回 (平成29年度)	第73回 (平成30年度)	第74回 (令和元年度)	第75回 (令和2年度)	第76回 (令和3年度)
開催地	愛媛県	福井県	茨城県	鹿児島県 ※延期	三重県 ※中止
順位	1位	2位	2位	—	—

(イ) 東京育ちのアスリートの競技力強化

東京2020大会に向けて構築した競技力向上施策の体系を大会のレガシーとして活用し、ジュニア層から、日本代表候補レベルの選手まで幅広く強化を推進する。

また、国民体育大会において東京都の選手が優秀な成績を収められるよう、国民体育大会出場候補選手に対する強化を引き続き実施する。

※ 公益財団法人東京都体育協会との共催により実施

a 日本代表選考会出場選手強化事業（戦略的競技力強化事業）

強化合宿への参加経費や海外で競技経験を積むための渡航費などに対する支援を行う。

b 指導者育成・スポーツ専門人材活用事業

スポーツ医・科学スタッフや指導実績のある指導者の招へい及び活用を促す。

c 国体候補選手強化事業

国民体育大会の東京都代表候補選手に対する強化練習等の支援を行う。

d 国体選手健康調査チェック等事業

国民体育大会出場候補選手の健康調査を実施する。

【令和3年度実績】

- ・日本代表選考会出場選手強化事業（22競技団体）
- ・国体候補選手強化事業（39競技団体）
- ・国体候補選手健康調査（1,230名）

(ウ) スポーツ・インテグリティの理解促進事業

都内競技団体、指導者、選手等に対し、スポーツに関わる者としての責任を再確認することにより事故防止に資するよう、スポーツ・インテグリティに関する理解の促進を図ることを目的として研修を実施する。

※ 公益財団法人東京都体育協会との共催によりオンライン実施

【令和3年度実績】

- ・指導者向け研修 2回 計183名
- ・競技団体向け研修 1回 計141名

(エ) 東京育ちアスリート応援事業

国際大会に出場し活躍したアスリートや、今後活躍が期待されるアスリートなどを、東京都が広報・応援し、地域での応援気運を醸成するとともに、アスリートが地域での

イベント等、様々な場面で活躍できる機会を創出する。

## イ ジュニア強化等に向けての指導体制の整備

オリンピック等国际舞台で活躍できる東京育ちのアスリートを輩出するため、地域におけるジュニアスポーツの裾野を広げ、競技力水準の向上を図るとともに、才能あるジュニア選手の発掘・育成を行う。

※ 公益財団法人東京都体育協会との共催により実施

### (ア) ジュニア育成地域推進事業

東京都のジュニア選手の裾野を広げ、競技力の底上げを図るための地域におけるジュニアを対象とするスポーツの普及・振興を行う。

### (イ) トップアスリート発掘・育成事業

優れた運動能力を有する中学2年生を募集・選考し、育成プログラムを経て、7つの競技（ボート・ボクシング・レスリング・ウエイトリフティング・自転車・カヌー・アーチェリー）のうちから適性ある競技でトップアスリートとして活躍できるよう支援する。

### (ウ) ジュニア選手・育成強化事業

ジュニア選手に対する競技普及のための体験会や有望なジュニア選手に対する強化練習等の支援を行う。

#### 【令和3年度実績】

##### ・ジュニア育成地域推進事業

教室 225事業、大会 101事業、強化練習 135事業、  
指導者研修等 27事業、ネットワーク構築・活用事業 24事業

##### ・トップアスリート発掘・育成事業（各期修了者数）

第1期生 (平成21年度)	第2期生 (平成22年度)	第3期生 (平成23年度)	第4期生 (平成24年度)	第5期生 (平成25年度)	第6期生 (平成26年度)
17名	20名	24名	25名	24名	25名
第7期生 (平成27年度)	第8期生 (平成28年度)	第9期生 (平成29年度)	第10期生 (平成30年度)	第11期生 (令和元年度)	第12期生 (令和2年度)
27名	25名	26名	18名	23名	20名
第13期生 (令和3年度)					
26名					

※ 第13期生については認定者

## ウ アスリートの競技力強化をサポートするための事業

### (ア) テクニカルサポート事業

大学との連携による選手へのスポーツ医・科学に基づいたサポート事業を実施し、当該データの測定をもとに、選手へのフィードバックや助言を行う。

また、指導者が自身の経験や熱意だけでなく、スポーツ医・科学に立脚した客観的な

データを用いたコーチングができるよう、指導者の資質向上のための指導者講習会等を実施する。

※ 公益財団法人東京都スポーツ文化事業団との共催により実施

a 大学連携事業

日本体育大学、日本女子体育大学、国士舘大学、早稲田大学及び東海大学の5大学が持つ機能を有効に活用し、競技種目の特性や専門性に応じた体力測定やトレーニング内容の改善・充実、栄養サポート、心理的サポート等のスポーツ医・科学的なサポートを、都内の高校生選手等を対象に実施する。

b 指導講習会、指導者交流シンポジウム

指導者をはじめ、選手及び保護者等を対象に、その育成及び資質向上を目的として、医・科学面からの講習会を実施する。

c 実践型ワークショップ

スポーツ医・科学的な指導方法やコーチングなどのノウハウを地域に還元するため、ワークショップによる実践的な形式で地域における指導者等の育成を図る。

【令和3年度実績】

- ・大学連携事業サポート対象者 88名
- ・各競技の強化活動への派遣※ 36件（パラリンピック競技1件を含む。）  
※ スポーツドクター、管理栄養士、トレーナー等、スポーツ医・科学の専門家をスポーツ団体の強化練習会等に派遣
- ・指導者講習会、指導者交流シンポジウム参加者 88名
- ・実践型ワークショップ参加者 66名

エ トップアスリーの功績を称える顕彰

(ア) 都民スポーツ大賞

世界的なスポーツ大会において優秀な成績を収めた東京のトップアスリーの功績を称える。

【令和3年度実績】

92名

(イ) 東京スポーツ奨励賞

世界のトップレベルでの活躍が今後期待されるユース選手など、世界的なスポーツ大会において優秀な成績を収めた東京アスリーの功績を称え、更なる活躍を奨励する。

【令和3年度実績】

実績なし

オ スポーツ国際交流事業

海外各都市からジュニアスポーツの選手やその指導者を招くなど、交流試合や指導者交流により、次世代育成に貢献するとともに、参加都市の競技力向上を図る。

また、ジュニアスポーツアジア交流大会はパラアスリートを招へいし、障害者と健常者

が一体となって交流できる国際大会を目指す。

※ 公益財団法人東京都スポーツ文化事業団との共催により実施

### 東京国際ユース（U-14）サッカー大会

#### 概要

ジュニアユース世代の競技力向上と、国際交流促進を目的に、東京をはじめとする国内のサッカーチームと姉妹友好都市等の海外チームとの交流試合を実施する。

- ・日 程 令和4年5月2日（月）～5日（木・祝）
- ・会 場 Jヴィレッジ（福島県）



※ 新型コロナウイルス感染症の感染状況等を踏まえ、海外チームの参加は見送り、国内チームのみで実施。

#### 令和3年度実績

※ 新型コロナウイルス感染症の拡大を防止する観点から中止

### ジュニアスポーツアジア交流大会

#### 概要

アジアにおけるジュニア世代の競技力向上と、次世代育成に貢献することを目的に、海外各都市からバドミントン、卓球のジュニア選手やその指導者を招き、交流試合や指導者交流等を実施する。

- ・日 程 令和4年9月14日（水）～20日（火）
- ・参加都市 アジア9都市（東京都を含む。）及び東日本大震災被災4県（予定） デリー、香港、ジャカルタ、クアラルンプール、マニラ、シンガポール、ウランバートル、ヤンゴン、岩手県、宮城県、福島県、茨城県、東京都
- ・競技種目 バドミントン、卓球
- ・会 場 駒沢オリンピック公園総合運動場  
バドミントン：体育館、卓球：屋内球技場



#### 令和3年度実績

※ 東京2020大会開催期間と重なるため休止

### 柔道指導者派遣

#### 概要

日本が世界に優れているスポーツの指導者を海外各都市に派遣することにより、ジュニア選手の技術向上及び指導者のスキルアップに寄与する。

- ・派遣都市 調整中

#### 令和3年度実績

※ 新型コロナウイルス感染症の拡大を防止する観点から中止

## (5) スポーツを通じた被災地交流事業

東日本大震災における被災地復興支援のため、スポーツを通じて被災者に夢や勇気を与え、子供たちの心のケアや地域復興の一助となる事業を展開してきた。今後は、これまで築いてきた東京都と被災地とのきずなをレガシーとして、より一層の交流を深めるため、以下の事業を実施する。

### ア 被災地交流事業【新規】

新たに、東京都と東北3県で協力し、被災地の競技会場等を活用して、子供たちを対象としたスポーツの交流事業を実施する。

#### ○福島県企画

- ・日 程 令和4年8月6日（土）～8月7日（日）
- ・場 所 福島市（福島あづま球場等）、双葉町及び浪江町
- ・実施内容 ソフトボール交流試合、震災学習等

※ 宮城県においても、令和4年冬に実施予定

### イ 被災地と東京の子供たちのスポーツを通じた交流事業（大会1周年記念）

東京2020大会の無観客開催に伴い、「東京2020観戦招待事業」が実施できなかったため、1周年記念事業において改めてオリンピック・パラリンピックに触れる機会を設けるとともに、被災地と東京の子供たちの交流を実施する。

- ・日 程 令和4年7月～9月
- ・場 所 八王子市、東大和市、墨田区
- ・実施内容 交流試合（軟式野球、サッカー）、東京2020大会1周年記念事業等への参加

### ウ 東京国際ユース（U-14）サッカー大会における被災地交流事業

2022年東京国際ユースサッカー大会のJヴィレッジ開催にあわせて、被災地交流イベントを実施し、大会への誘客及び被災地の交流の促進等を図る。

- ・日 程 令和4年5月2日（月）～5月5日（木・祝）
- ・場 所 福島県（Jヴィレッジ）
- ・実施内容 地域交流（語り部講話）

### エ 東京マラソン「10kmレース」招待事業

被災地の高校生を東京マラソン10kmレースに招待し、都心を駆け抜ける爽快感や、有名選手を間近に感じることで、被災地の高校生に夢を与える。

※ 公益財団法人東京都体育協会との共催により実施

- ・日 程 令和5年3月4日（土）～3月5日（日）
- ・招待大会 東京マラソン2023 10kmジュニア&ユース（予定）

#### 【令和3年度実績】

- ・日 程 令和4年3月5日（土）～3月6日（日）
- ・参加者 29人

## 2 パラスポーツの振興

「東京都スポーツ推進総合計画」（平成30年3月策定）及び『「未来の東京」戦略』（令和3年12月）に基づき、「理解促進・普及啓発」「場の開拓／人材の育成」「競技力向上」「支える土台づくり」の視点から、パラスポーツ振興に向けた施策の展開を図っている。

### (1) 理解促進・普及啓発

#### ア 障害者スポーツ専門ポータルサイトTOKYO障スポ・ナビ

障害のある人やパラスポーツを支える人を対象に、都内のパラスポーツイベント情報や、公共スポーツ施設のバリアフリー情報等を掲載した障害者スポーツ専門ポータルサイト「TOKYO障スポ・ナビ」を運営する。

##### 【令和3年度実績】

- ・掲載情報件数  
イベント・教室等 180件、施設 666件、地域スポーツクラブ等 89件
- ・ページビュー数 23万9,375件

#### イ チャレスポ！TOKYO

障害のある人にもない人にもパラスポーツを知ってもらい、理解と共感を深めてもらうとともに、障害のある人にスポーツの楽しさや効用を知ってもらい、スポーツを始めるきっかけを提供する。

##### 【令和3年度実績】

- ・会場 東京国際フォーラム ホールE全面・ロビーギャラリー全面  
※ オンライン配信も実施（令和4年3月末までアーカイブ視聴可能）
- ・日程 令和3年12月19日（日）
- ・実施内容 パラスポーツ体験コーナー、パラスポーツの用具や写真等の展示、ゲストによるトークショーや交流イベント、自宅等で楽しめる「ストローアーチャー」制作・体験 等



#### ウ スポーツの効用等に関するコンテンツ発信事業【新規】

スポーツや運動に関心のない障害のある人に向けて、専門的な見地や当事者の体験等から、スポーツや運動の効用等を示すコンテンツを製作・発信する。

## エ パラスポーツ普及啓発プロジェクト「TEAM BEYOND」

パラスポーツのファン・サポーターを増やし、パラスポーツの認知度を飛躍的に向上させるとともに、パラスポーツが継続して社会に根付くようにするため、多様なメディアを活用し、パラスポーツへの関心を高めるための総合的な普及啓発事業を実施する。

具体的には、パラスポーツの応援プロジェクト「TEAM BEYOND」を展開し、大会情報の発信や、登録メンバーを始め幅広い層が参加できるパラスポーツに関連したイベント、企業・団体によるパラスポーツ支援の後押しなどを行っている。

登録者数 約141万人（令和4年8月1日現在）

### 【令和3年度実績】

- ・メディアを活用した情報発信（ラジオ番組、パラスポーツの魅力を伝える動画配信、パラアスリートのスゴ技映像の制作 等）
- ・パラアスリートによるトークショーや障害の有無を問わず参加できるボッチャ大会などパラスポーツの魅力を体感できるイベント「BEYOND STADIUM 2021」の実施
- ・TEAM BEYONDパラスポーツ漫画パネル展の実施
- ・ファッションブランドとコラボレートしたTシャツの制作
- ・「企業・団体によるパラスポーツ振興の取組事例集」冊子の制作・活用
- ・企業・団体向けオンラインシンポジウムの実施（3回）
- ・企業・団体メンバー交流会（オンライン）の実施（1回）
- ・競技大会リモート観戦会の実施（1回）



## オ 都内におけるパラスポーツ国際大会の開催促進

より多くの観戦機会を提供し、パラスポーツの一層の振興を図るため、都内で開催されるパラスポーツの国際大会の開催を促進する。

## 【令和3年度実績】

### 1 大会

#### カ 障害者のスポーツに関する意識調査

「東京都スポーツ推進総合計画（平成30年3月策定）」及び「『未来の東京』戦略（令和3年3月策定）」における政策目標（障害のある都民（18歳以上）のスポーツ実施率を2030年までに50%）の達成状況を把握するとともに、障害のある人のスポーツ活動に関する意識や実態を把握し、今後のパラスポーツ振興に資する施策展開の基礎資料として活用を行う。

## 【令和3年度実績】

無記名式のインターネット調査

令和3年度は、東京2020大会前と後の2回実施（経年比較の数値は2回目のもの）

（調査結果の主なポイント）

- ・週に1日以上スポーツや運動を実施した人（障害のある都民）は35.4%  
（前回（令和2年度）調査：31.9%）
- ・全体の約半数（49.0%）はスポーツや運動に関心がない
- ・東京2020大会を観戦した障害者には、スポーツ実施や観戦、ボランティア等に取り組みたい人が増えるなど、スポーツ活動に対する意向に一定の影響が見られた。

#### キ 聴覚障害者などのパラスポーツ大会支援等調査

パラスポーツの振興に資するよう、聴覚障害者などのパラスポーツ国際大会の開催支援の検討に向けて必要な事項を調査する。

## 【令和3年度実績】

競技団体やスポーツ統括団体等の大会主催者をはじめ、国、開催都市及び民間企業等のステークホルダーの開催準備や運営の関わり方について

#### ク パラスポーツスタートガイド

パラリンピック競技をはじめ様々な競技スポーツの魅力や、競技スポーツを始める上で役立つ情報を提供するため、令和4年1月にウェブサイトを開設するとともに、3月に概要冊子を作成し、情報発信をしている。

## 【令和3年度実績】

ページビュー数：17,493件

#### ケ TOKYOパラスポーツチャンネル

競技観戦できる機会を広く提供し、パラスポーツへの興味・関心を高めるため、都内やその近郊で実施されるパラスポーツ大会をケーブルテレビ等で中継・配信する。

## 【令和3年度実績】

### 3 大会

#### コ パラスポーツ体験プログラム【新規】

パラスポーツ全般の競技体験やアスリートによるデモンストレーション、競技紹介パネル等の展示など、パラスポーツの魅力を体験できるプログラムを区市町村や大学等と連携



して実施し、都民へパラスポーツの理解促進を図る。

#### サ 東京2020パラリンピック周年記念事業【新規】

パラリンピックを開催した8月・9月を「T O K Y Oパラスポーツ月間」と位置付け、多様な主体と連携し、パラスポーツ親善試合やイベントなど様々な取組を集中的に展開することで、東京大会の感動と記憶を共有するとともに、パラスポーツムーブメントの更なる発展につなげる。

### (2) 場の開拓（開拓整備事業）

#### ア 障害者スポーツ地域サポート事業

パラスポーツ事業のノウハウを持つアドバイザーが、区市町村や地域スポーツクラブ等を訪問するなど、事業の企画・実施を支援するほか、事業実施に必要な指導者等のコーディネートや用具の貸与を通じて、身近な地域でスポーツを楽しめる環境づくりを図る。また、令和4年度からは、地域における他分野との連携事例の紹介や、区市町村間で取組状況や課題について意見交換を行う地域ブロック関係者連絡会議を実施する。

##### 【令和3年度実績】

- ・開拓推進事業 63件
- ・指導員等派遣事業 53名
- ・用具貸与事業 71件

#### イ 障害者スポーツコンシェルジュ事業

公益社団法人東京都障害者スポーツ協会において、パラスポーツを支援したいという民間企業等の意向を選手や競技団体につなぐための相談窓口を設けるとともに、障害のある人に対してスポーツに関する情報提供や助言を行い、パラスポーツの一層の推進を図る。

また、企業と競技団体間のネットワークの構築及びマッチングにつなげることを目的として交流会を開催する。

##### 【令和3年度実績】

- ・問合せ及び相談数 200件
- ・交流会 参加者：85名

（企業：18社 29名 競技団体：19団体 34名 オンライン参加 22名）

#### ウ 都立特別支援学校活用促進事業

障害のある人や障害者スポーツ競技団体等が、身近な地域でスポーツ活動ができるよう、対象となる都立特別支援学校の体育施設を、学校教育活動に支障のない範囲で平日夜間や土日・祝日に開放し、活用を促進する。

また、都内の都立特別支援学校をパラスポーツの拠点の一つと位置付け、児童、生徒や地域住民等が参加できるスポーツやスポーツ・レクリエーションの体験教室を開催する。

【都立特別支援学校活用促進事業対象校】

	平成28年度開始	平成29年度開始	平成30年度開始
学校名	墨東特別支援学校	城東特別支援学校	永福学園
	大塚ろう学校	北特別支援学校	高島特別支援学校
	大泉特別支援学校	鹿本学園	水元小合学園
	府中けやきの森学園	小平特別支援学校	八王子東特別支援学校
	村山特別支援学校	あきる野学園	武蔵台学園
	令和元年度開始	令和2年度開始	令和3年度開始
学校名	臨海青海特別支援学校	花畑学園	水元特別支援学校
	足立特別支援学校	八王子西特別支援学校	多摩桜の丘学園
	八王子盲学校	南大沢学園	令和4年度開始
	青峰学園	調布特別支援学校	品川特別支援学校
	小金井特別支援学校	羽村特別支援学校	東久留米特別支援学校

※ 平成28年度から令和2年度までは、「都立学校活用促進モデル事業」として実施

【令和3年度実績】

体験教室開催回数：74回 ※ 講習会・オンライン体験教室含む。

なお、新型コロナウイルス感染症の拡大を防止する観点から、一部体育施設の事業を中止（緊急事態宣言期間中は全ての体育施設の事業を中止）



エ 動画を活用した運動・QOL向上事業

自宅や障害者福祉施設などの身近な場所で気軽に取り組める運動を動画で広く紹介する。  
また、障害者福祉施設及び障がい者スポーツ指導員等を対象に運動動画に関する研修を実施し、施設等での動画の積極的な活用につなげる。

【令和3年度実績】

- ・動画 8本作成
- ・研修会 2回実施

オ 障害者のスポーツ施設利用促進事業【新規】

身近な地域のスポーツ施設における障害のある人の利用に際して、施設管理者が配慮すべきポイントを掲載した「障害者のスポーツ施設利用促進マニュアル」（平成27年度作成）について、新たな取組事例を収集した上で、同マニュアルの改訂を行う。

なお、オンライン上で障害種別や利用に関する場面ごとの対応が簡単に検索できる同マニュアルのウェブ教材と、障害のある人にもスポーツの場を提供している民間スポーツクラブの工夫や配慮を紹介した「民間スポーツクラブ取組事例集」もHPに掲載している。

#### カ TOKYOユニバーサルウォーキング普及事業【新規】

既存のウォーキングアプリに障害者が使いやすい機能を付加し、身近な場所での活用を促すことで、障害者の日常的なウォーキングを促進する。また、都内各地域でバリアフリーが整った当該コースでのウォーキングを促す企画を実施する。

#### キ パラスポーツリモート参加事業【新規】

遠隔操作によりコミュニケーションが可能な分身ロボットを活用し、外出困難な重度障害者等がパラスポーツの体験教室やボランティア参加など「する・みる・支える」の様々なスポーツ活動に参加できる機会を提供する。

#### ク 区市町村スポーツ環境整備費補助

誰もが身近な場所で気軽にスポーツを楽しめる環境を整備し、スポーツを通じた共生社会の実現を目指すため、スポーツ環境の整備・促進に向けて区市町村が行う取組を支援し、更なるスポーツ施設の拡大・充実を図る。

(対象事業については207ページ1(3)キ「区市町村におけるスポーツ振興施策への支援」参照)

### (3) 支える人材の育成（人材育成事業）

#### ア 障害者スポーツセミナー

区市町村職員やスポーツ推進委員、医療福祉関係者等を対象にセミナーを開催し、地域のパラスポーツ事業を支える人材の育成を図る。

##### 【令和3年度実績】

対象者別	実施日	参加人数
区市町村職員等	令和3年6月7日（月）	39名
スポーツ推進委員等	令和3年9月26日（日）	33名
医療福祉関係者等	令和3年11月3日（水・祝）	31名

#### イ 初級・中級障がい者スポーツ指導員養成講習会

障害者スポーツの現場で実際に指導・支援に当たる人材を養成し、地域におけるパラスポーツの取組を促進する。

※ 公益財団法人日本パラスポーツ協会による公認資格

##### 【令和3年度実績】

	実施日数	参加人数
初級障がい者スポーツ指導員養成講習会	5日間	34名
中級障がい者スポーツ指導員養成講習会	9日間	34名

## ウ 障害者スポーツ人材の活動活性化事業

障害者スポーツボランティアポータルサイト「TOKYO障スポ&サポート」を通じてボランティア人材にイベント等の情報を提供し、活動機会の拡充を図るとともに、ボランティアコーディネーターを配置し、ボランティア人材と活動先とのマッチングを行う。

また、障害特性に応じた支援方法が学べるe-learning講座等により、活動を促進する。

さらに、活動経験が少ない障がい者スポーツ指導員等を対象にした「リ・スタート研修会」や「地域事業参加型指導員育成事業」、活動の場に関する最新の情報提供を行う「障害者スポーツフォーラム」を開催し、パラスポーツ人材の資質向上を図る。

### 【令和3年度実績】

イベント・研修	実施日（募集回数）	参加人数
リ・スタート研修会	令和3年11月27日（土）	17名
	令和3年12月18日（土）	29名
地域事業参加型指導員育成事業	10回 (事前研修・実地研修・事後研修)	18名
障害者スポーツフォーラム	令和4年2月26日（土）	128名 (オンライン開催)



## エ パラスポーツ研修キャラバン事業

地域のスポーツ振興の担い手となる団体が、主体的にその構成員に向けてパラスポーツの知識・情報を付与する仕組みを構築し、パラスポーツの理解促進及び支える人材の裾野拡大ができるよう、団体の研修会等に講師を派遣する。

【令和3年度実績】

派遣先	実施日	参加人数
公益財団法人 東京都体育協会	令和3年9月19日（日） 令和4年3月19日（土）	49名（オンライン開催） 16名
東京都社会福祉協議会	令和3年11月2日（火）	90名（オンライン開催）
公益社団法人 日本フィットネス協会	令和3年12月4日（土）	74名 （会場30名、オンライン44名）
一般社団法人東京都 スポーツ推進委員協議会	令和3年12月5日（日）	43名

(4) 競技力向上

ア パラスポーツ次世代ホープ発掘事業

都内からパラスポーツの次世代を担う選手を輩出することを目的に、競技体験等を通じて競技スポーツとのマッチングを行う発掘プログラムを実施するとともに、競技活動への継続・定着を促すため、実技・座学を組み合わせたフォロープログラムや競技団体の練習会に参加するトライアルプログラムを実施している。

【令和3年度実績】

選手発掘プログラム

①競技測定会

- ・令和3年11月6日（日） 新宿コズミックスポーツセンター 70名

②競技体験会

- ・令和3年11月23日（火・祝） BumB東京スポーツ文化館 113名

フォロープログラム

- ・実施内容：スポーツ理論講習会 等
- ・全11回 実技と座学によるスポーツ理論講習を実施

トライアルプログラム

- ・実施内容：競技団体の練習への参加
- ・全4回



イ 障害者スポーツ競技活動支援事業

東京2020大会の競技や中央競技団体が日本パラリンピック委員会に加盟している競技等

の都内統括団体が行う、選手の強化育成や指導者の養成等を目的とした競技力向上の取組を支援することで、各団体の自主的な活動を促す。

【令和3年度実績】

6団体

#### ウ 東京都障害者スポーツ強化練習会

全国障害者スポーツ大会での東京都選手の活躍を目標に、正式競技の強化練習会等を開催し、選手の競技力を強化する。

【令和3年度実績】

強化練習会等 87回

#### エ 東京パラアスリート強化事業【新規】

東京ゆかりのスター選手が継続的に輩出され、国際大会で活躍するよう東京ゆかりのパラアスリートの強化を行う。また、パラアスリートを支えるガイドランナーやコーチなどの「パラスポーツスタッフ」の活動環境の整備等を行い、パラアスリートの一層の競技力向上を図る。

#### オ 障害者スポーツ団体体制強化支援事業

都内で活動する障害者スポーツ競技団体の組織基盤強化および運営能力向上を図り、スポーツ庁が策定した「スポーツ団体ガバナンスコード」に適合する団体となるよう複合的な支援を行う。

【令和3年度実績】

- ・ 集合型研修会 3回
  - ※ オンライン開催（ライブ配信、アーカイブ配信）
- ・ 事務サポート 3回
- ・ 専門家相談 2回
- ・ 外部連携（プロボノ）プロジェクト実施2団体
- ・ 法人格取得支援

#### カ パラスポーツ人材地域活動促進事業

東京都が支援してきたパラスポーツ選手、スタッフ及び競技団体等が講習会等を通じて、これまで培ってきた技術や経験などを地域に還元することにより、パラスポーツの普及や競技スポーツを実施する人の裾野を拡大させる。

【令和3年度実績】

マッチング 5件

#### キ パラスポーツオープン競技大会の開催

都民のパラスポーツに対する理解を深め、障害のある人の社会参加を推進するとともに、



競技団体の活動活性化や競技スポーツ実施者の裾野拡大のため、東京都障害者スポーツ大会において、障害のない人も参加できる競技をオープン競技として実施する。

【令和3年度実績】

2 競技（障害者セーリング、ローリングバレーボール）

ク 東京都障害者スポーツ大会

パラスポーツを通じて、自らの体力の維持増進及び社会への参加と相互の交流を促進させるとともに、都民の障害のある人に対する理解の増進を図り、もって障害のある人の自立の促進とスポーツ振興に寄与することを目的に実施する競技大会であり、全国障害者スポーツ大会の派遣選手選考会を兼ねる。

本大会の開会式は障害のある人もない人も、ともにスポーツに親しむ場として、都民体育大会と東京都障害者スポーツ大会の合同開会式を開催する。

【令和3年度実績】

※ 新型コロナウイルス感染症の拡大を防止する観点から、各競技大会及び合同開会式は中止。

なお、「スポーツの集い」は来場参加及びオンラインで開催。

【参考：令和元年度実績】

競技種目	個人競技	陸上競技、水泳、アーチェリー、卓球（サウンドテーブルテニス含む）、フライングディスク、ボウリング、ボッチャ、スポーツの集い（8 競技）
	団体競技	バスケットボール、車いすバスケットボール、ソフトボール、グランドソフトボール、バレーボール、サッカー、フットベースボール（7 競技）
会 場	駒沢オリンピック公園総合運動場ほか	
出場者数	5,792 人	

ケ 全国障害者スポーツ大会への選手・役員派遣

全国障害者スポーツ大会は、障害のある選手が、パラスポーツの全国的な祭典に参加し、競技等を通じ、スポーツの楽しさを体験するとともに、国民の障害に対する理解を深め、障害のある人の社会参加推進に寄与することを目的として開催されている。

東京都では、東京都障害者スポーツ大会・関東ブロック予選会等を経て選出された選手や役員で構成される選手団を、本大会へ派遣している。

【令和3年度実績】

※ 新型コロナウイルス感染症の拡大を防止する観点から中止

【東京都の競技成績】

	開催地	個人競技（人）			団体競技 （チーム）
		1位	2位	3位	
第17回 （平成29年度）	愛媛県	80	43	33	優勝 5
第18回 （平成30年度）	福井県	106	47	27	優勝 7
第19回 （令和元年度）	茨城県	台風のため全競技中止			
第20回 （令和2年度）	鹿児島県	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため延期 （鹿児島県での開催は2023年）			
第21回 （令和3年度）	三重県	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止			

コ 後援名義の使用承認

都内で開催されるスポーツ大会等の中で、公益性があり、パラリンピックの気運醸成や選手の競技力向上など、東京都のパラスポーツの推進に寄与する行事について、後援名義の使用を承認している。

【令和3年度実績】

後援名義 21件

(5) パラスポーツを支える土台づくり

ア 障害者スポーツ振興基金

平成28年度に「東京都障害者スポーツ振興基金」を創設し、オリンピック・パラリンピックに向けて集中的・重点的にパラスポーツの振興を図っている。

イ 障害者スポーツコンシェルジュ（再掲）

公益社団法人東京都障害者スポーツ協会において、障害のある人に対するスポーツに関する情報提供や助言を行うとともに、障害者スポーツを支援したいという民間企業等の意向を選手や競技団体につなぐための相談窓口を設け、パラスポーツの一層の推進を図る。

また、企業と競技団体のネットワークの構築及びマッチングにつなげるとことを目的として交流会を開催する。

ウ 区市町村スポーツ実施促進事業（パラスポーツ推進事業）

パラスポーツ推進事業においては、区市町村が実施するパラスポーツへの関心向上や障害者のスポーツ実施促進につなげるために行う事業を支援することにより、障害のある人が身近な地域で継続的にスポーツを楽しめる環境の拡大・整備を図る。

（対象事業については207ページ1(3)キ「区市町村におけるスポーツ振興施策への支援」参照）